

第80号 メールマガジン

水土里

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

【一社一村】伊豆市の組織が行っている活動を 一社一村しづおか運動に認定しました

東部

「ふじのくに美しく品格のある邑」に登録されている伊豆市湯ヶ島の「いずのやね茅野」では、棚田保全や地域活性化に取り組む地元有志の組織「はちくぼ会」が大学等の3団体と連携し、「はちくぼ山麓つながるプロジェクト実行委員会」を組織し活動を行っています。

実行委員会では、遊休農地を活用したライ麦栽培や麦ストローの加工・販売、地元農産物の販売を行うマルシェの開催など様々な活動が行われています。

これらの活動を「一社一村しづおか運動」に認定し、11月15日に認定式を開催しました。今後、更なる活躍と地域の活性化に期待が膨らみます。



<プロジェクト実行委員会 構成団体>

はちくぼ会

就労継続支援B型事業所プラム

静岡大学理学部植物系統分類学研究室

早稲田大学社会科学部農村デザイン研究ゼミナール

東部農林事務所 農村計画課 055-920-2165

【棚田】「千框の棚田」でイベントが開催されました

中遠

菊川市倉沢の棚田は、静岡県棚田等十選に選定されており、NPO法人せんがまち棚田俱楽部や静岡大学棚田研究会が中心となって保全活動を行っています。また、棚田の保全活動を通じ、多様な人々の参加による地域活動が行われており、「千框の棚田」として、「ふじのくに美しく品格のある邑」に登録されています。

11月15日に茶草場農法体験やお茶染め体験、玄米茶やほうじ茶作り体験が行われました。

参加者たちは茶草場農法で伝統的に用いられる「かっぽし」を作成しました。また、お茶の葉等を使って布バックを染めたり、菊川市の職員から玄米茶やほうじ茶の作りかたを教わり、色の変化や香りを楽しんでいました。

お昼には地元で捕れたイノシシを使ったジビエカレーが振る舞われ、「秋の千框」を楽しんだ一日となりました。



<かっぽし>

世界農業遺産に登録されている「静岡の茶草場農法」で用いられるスキ等を束ねたもの。乾燥させた後、細かく碎き茶畠の間にまくことにより柔らかい土壤ができ、高品質の茶を生産できる。

中遠農林事務所 農村計画課 0538-37-2290

【美農里】西気賀地区の子供たちと餅つき大会を実施！

西部

浜松市浜名区の多面的機能支払活動組織「沖通り農地保全会」は、地元の子供たちに地域農業と食に関心を持ってもらうため、関係団体と年間を通じて体験学習を実施しています。11月27日に西気賀小学校で餅つき大会を開催しました。

餅つき大会には小学生や幼稚園児が参加しました。餅つきの前には炊き立てのお米の香りを体験し、自分たちで収穫したお米を五感で楽しむ経験をしました。杵と臼を用いた昔ながらの餅つきを体験し、餅つきの最中は「よいしょー！」と掛け声をし、大変盛り上がりました。



西部農林事務所 農村計画課 053-458-7224

【美農里】富士市立東小学校の5年生と お米の食べ比べを行いました

富士



富士市の多面的機能支払活動組織「はるやま21」は、地元の小学生にお米作りや農業の大切さを伝えるため、田植えから稻刈りまでお米作りの一連を経験できる取組みを実施しています。

12月9日に富士市立東小学校の5年生がお米の食べ比べを行いました。今回食べ比べたお米は、小学生が自らの手で田植えから収穫まで行った「コシヒカリ」とその他の品種です。小学生たちは地元農家の高橋氏から、それぞれのお米の特徴について学び、品種による味の違いを楽しんでいました。

富士農林事務所農村計画課 0545-65-2201